

☆\*\*\*\*\*☆

ニッセイメール配信サービス（メルマガ）

【メルマガ内容】

DB基金（ ） DB規約（ ） DC（ ）  
厚年基金（ ） 会計基準（ ） その他（○）

【タイトル】 諸外国の年金制度の動向、年金額の改定ルール等について  
共有化／第3回社会保障審議会年金部会

☆\*\*\*\*\*☆

平素より当社社業につき格別のご高配を賜り、厚く御礼申しあげます。

厚生労働省は、2018年7月30日、第3回社会保障審議会年金部会を開催しました。

前回（6月22日）（※1）は、2019年に実施される公的年金の財政検証（少なくとも5年ごとに実施することとされている財政見通し）の意義・役割等について事務局からの説明が行われました。今回は、引き続き、諸外国の年金制度の動向や、年金額の改定（スライド）ルールおよびマクロ経済スライドについて事務局から説明が行われました。

※1 2018\_06\_メルマガ 2018.06.27【その他】2016年度公的年金財政状況報告、  
財政検証の意義・役割等について共有化／第2回年金部会  
[http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/magazine/224\\_nenkin\\_magazine\\_20180627.pdf](http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/magazine/224_nenkin_magazine_20180627.pdf)

〔議事1〕 諸外国の年金制度の動向について

1. 諸外国の年金制度（総論）
2. 諸外国の年金制度の動向～我が国の課題に照らして～（各論）
  - （1）諸外国と比較した我が国の年金制度の特徴
  - （2）給付水準の自動調整機能
  - （3）被用者年金制度の適用範囲の現状
  - （4）高齢期の就労と年金受給の在り方
  - （5）諸外国における公的年金財政等の状況

[議事2] 年金額の改定ルールおよびマクロ経済スライドについて

- ・年金額の改定（スライド）の基本的な考え方、ルールの変遷等
- ・経済基調がマクロ経済スライドと年金財政、年金額に与える影響

事務局からの説明の後、出席委員からは、次のような意見が出されました。

ーなぜ年金額改定が行われるのか、改定の背景を国民に説明していくことが重要である。年金額を増やすために、自助努力の支援等（若い世代への金融リテラシー教育等）を通じて、年金額を増やす支援を行うべきである。

（コンサルタント）

ー将来への不安をあおるのではなく、年金の運用等がプラスの方向で進んでいることを国民に説明するべきである。（経営者）

今後は、引き続き社会保障改革プログラム法に挙げられた検討事項（※2）に沿って討論を行い、財政検証の作業が進められる見通しです。

- ※2
- ・マクロ経済スライドのあり方
  - ・被用者保険の適用拡大
  - ・高齢期の就労と年金
  - ・高所得者の年金給付と課税 等

\*当日の資料は、以下の厚生労働省HPに掲載されています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212815\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212815_00001.html)

～メルマガのバックナンバーを掲載しています～

<http://www.nenkin.nissay.co.jp/info/report.htm>

バックナンバーでは、過去の年金NEWS・メルマガに加え、マーケット情報等（Daily市場レポート、臨時市場レポート、第1特約運用状況）をご覧いただくことができます。

=====

日本生命保険相互会社

団体年金部

団体年金コンサルティンググループ

年金NEWS・基金照会窓口

TEL 03-5533-5572

FAX 03-5533-5228

E-mail kikinmadoguti@nissay.co.jp